

保護者のみなさまへ

臨時休校対策

朝顔の家庭栽培のポイント！

ご家庭で活用いただける朝顔栽培資料をご用意しました。
朝顔は育てやすい植物なので、ご家庭でも安心して栽培・観察をしていただけます。
この栽培ポイントの資料を是非ご活用ください。

◆あさがお種まき～開花の目安

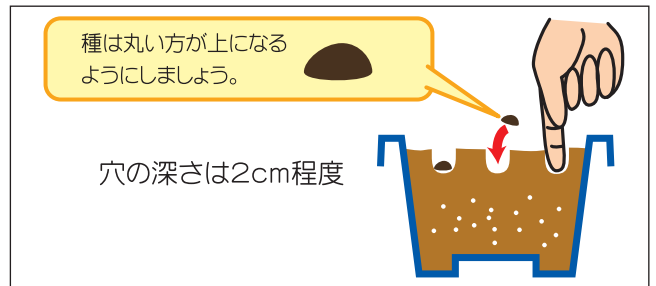
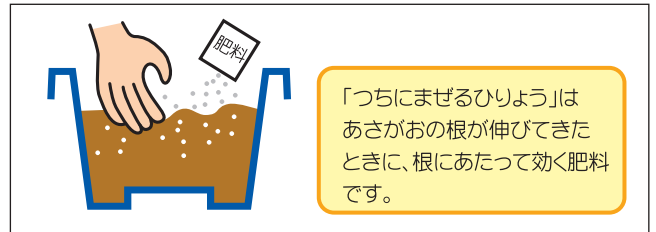
	5月			6月			7月			8月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
寒い地方			種まき	成長					開花		
暖かい地方	種まき			成長					開花		
種まきが遅くなった場合				種まき	成長					開花	

朝顔の発芽・生育に必要な気温は、20℃以上です。全国平均では5月中頃から種まきをするとうまいとされていますが、上記目安のとおり6月に入ってから種まきでも大丈夫です。

1. 植木鉢に土を入れて種をまきましょう。

※当社の【はなやさいのつち】と【種】を使用した場合です。
受皿付き植木鉢をご使用の場合、はじめに受皿をセットしてください。

- ① 植木鉢の半分まで土を入れる
- ② 「つちにまぜるひりょう」を入れて適度に混ぜる。
- ③ 一握りの土だけを残して、残りの土を入れて水をたっぷりかける。
土に水をしっかりとなじませましょう。
- ④ 2cm程度(指の第一関節位)の穴を作って、朝顔の種を入れる。
- ⑤ 残しておいた一握りの土を種の上にやさしくかぶせる。
- ⑥ 植木鉢の置き場所は朝日があたる場所で、出来るだけ日当たりが良く、風通しの良いところに置いてください。
夜間に街灯など照明があたる場所は避けてください。



2. 発芽までの水やりはやさしく静かにあげましょう。

水やりは朝行うようにしてください。
発芽には水は不可欠ですが、勢いよく水をかけると、せっかくまいた種を掘り返してしまい発芽しなくなります。
毎朝、土が乾かない程度(500mL程度)にできるだけやさしくあげましょう。



3. つるが伸び始めたら追肥をまきましょう。

- ① 双葉が出て、しばらくすると本葉が出ます。その後つるが伸び始めた頃に【ほんばがでたらまくひりょう】を土の上に置きましょう。
肥料は一か所に偏らないようにしてください。
- ② つるが伸び始めたら水は今までよりたくさん必要になります。
土が乾かないように気を付けましょう。
※この頃の水やりは毎朝、土の乾き具合を見ながら、500mL～750mL程度あげましょう。



4. いよいよ支柱を立てよう。

- ① つるが伸び始めると成長は目に見えて速くなります。
支柱は追肥をした後に立てましょう。
- ② 図のように支柱を立てます。支柱穴の奥までしっかりと差し込んでください。
- ③ つるは自然に支柱に巻きついていきます。
- ④ つるが長く伸びる頃、気温も上がってくるので、水はますます多く必要になります。
※この頃の水やりは毎朝、土の乾き具合を見ながら、1000mL程度あげましょう。
※水は葉にかけるのではなく、土全体に行き渡るようにあげましょう。
- ⑤ つるがさらに伸び、葉も繁り出した頃、水やりの量を更に増やしましょう。
※毎朝、土の乾き具合を見ながら、1000mL~1500mL程度あげましょう。
※夏は土の乾燥が早くなるので、朝夕の2回土の乾き具合を確認し水をあげましょう。

注意! 天気の悪い日が続いたり、天候が不安定な時は、土の乾き具合を確認して、水の量を調整しましょう。
風が強い時は植木鉢を風のあたりにくい場所へ移動させましょう。

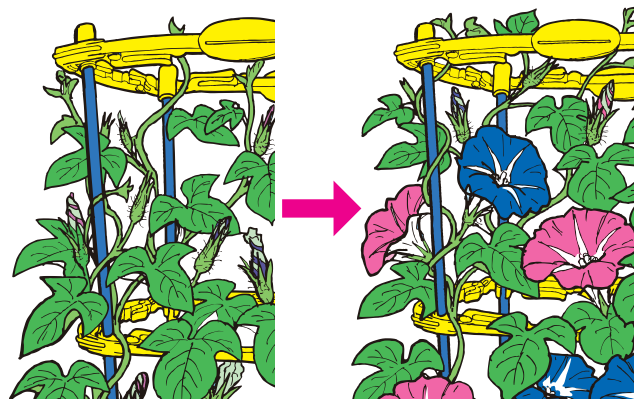
●受皿を使った給水システムの利用について。

水を入れたペットボトルにペットジョウロを取り付け、受皿にジョウロを下にして立てます。自然環境と同じように、植物の必要に応じて下から水を吸い上げます。
※ペットボトルの水の減り具合を観察してみましょう。
※受皿を使った、ペットボトルでの自動給水は、水やりの補助的な役目をするものであり、水やりが一切不要になるわけではありません。



5. つぼみ～開花

- つるが支柱の上の方まで伸びてくると、つぼみが付き始める頃です。
- 朝顔は短日植物なので、夏至を過ぎたところから花芽を作り始めます。
- 花は早朝に開き、昼にはしおれてしまいます。
花は下から上に順番に咲いていきます。
- 花が咲き終わるとめしべの付け根にある子房が大きくなり実になっていきます。
- 花が枯れた後にできる朝顔の実は、最初は鮮やかな緑色をしています。
※この時期はまだ実の中にある種は十分には育っていません。
青みが完全に消えるまで待ちましょう。
- 実が茶色くなり、皮がカラカラに乾燥すると、種を収穫するタイミングです。
指で簡単に皮がつぶれるので、中の種を収穫しましょう。
- 取った種はしっかりと乾燥させてから、封筒などに入れ風通しの良い場所や冷蔵庫(野菜室)などで保管しましょう。
密閉できる袋に入れて冷蔵庫で保存しておいても構いません。

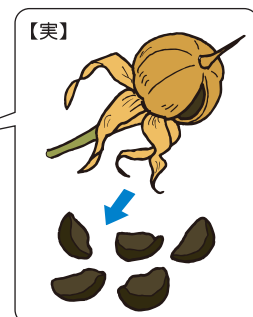


・つぼみが付き始める。

・早朝に花は咲きます。



・実が茶色になるのを待ちましょう。

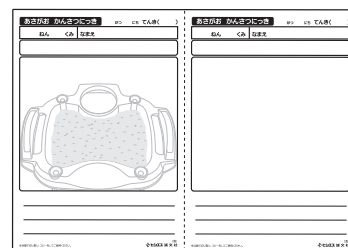


・カラカラになると収穫する頃です。



弊社のホームページより、
あさがお観察日記用紙を
ダウンロードしていただけます。
あさがお観察の際には是非ご利用ください。

www.seibunsysa.co.jp



※観察日記用紙は【G型植木鉢】用と【MA型植木鉢】用がございます。